

CS261 RS-232 コマンド 日本語版ユーザーマニュアル

本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS261 RS-232 コマンド取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2016 年 1 月 4 日

V1.0 版

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

【補足】

- 本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも関わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける評価機貸出サービスが無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)内の「ご購入前のお問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
EMC	2
RoHS.....	2
SJ/T 11364-2006	3
マニュアル表記について.....	4
RS-232 コマンドの操作	5
概要.....	5
セットアップ	5
ハードウェアの接続	5
コンソールログイン - ハイパーターミナル.....	6
RS-232 コマンド	7
実行コマンドの結果.....	7
切替操作.....	8
キーボード言語レイアウト	9
OS の設定	10
タイムアウト.....	11
EDID モード	12
スクリーンセーバー	14
ビープ音の設定	16
ホットキーの設定	17
ホットキーの切替	18
USB リセット.....	19
デフォルト設定のリストア	20
ファームウェアアップグレード	21
KVM ステータス	22
情報	23

EMC

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 のデジタル装置 Class A の規定に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)本製品による有害な干渉を発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉をすべて受け入れる。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

CE による注意:本製品は Class A に準拠した製品です。本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。その際は、ユーザーご自身にて、適切な処置を行ってください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款, 但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ(,)を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

RS-232 コマンドの操作

概要

CS261 DVI コンピューター共有器は、双方向対応 RS-232 シリアルインターフェースを搭載しているため、シリアルリモートコントローラーやコンピューターを通じてシステムの制御を行うことができます。CS261 での RS-232 シリアル制御は、Windows 搭載コンピューターで動作するハイパーターミナルのセッションを介して管理することができます。この RS-232 コマンドを使用するには、まず、ハイパーターミナルのアプリケーションをダウンロードし、インストールする必要があります。このマニュアルにおける各コマンドに関する詳細および使用方法については、CS261 のユーザーマニュアル本編にてご確認ください。

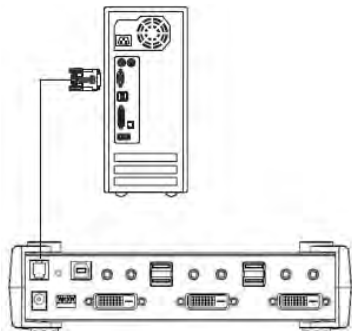
セットアップ

CS261 の配下で使用されていないコンピューターに、ハイパーターミナルのアプリケーションをインストールしてください。RS-232 コマンドによる CS261 の制御は、このコンピューターから行います。ハイパーターミナルのアプリケーションは、インターネットからダウンロードすることができます。また、ハイパーターミナルのアプリケーションは各種 OS に組み込まれています。

CS261 本体の裏面にあるディップスイッチ 1 を ON にして、シリアル通信機能を有効にしてください。

ハードウェアの接続

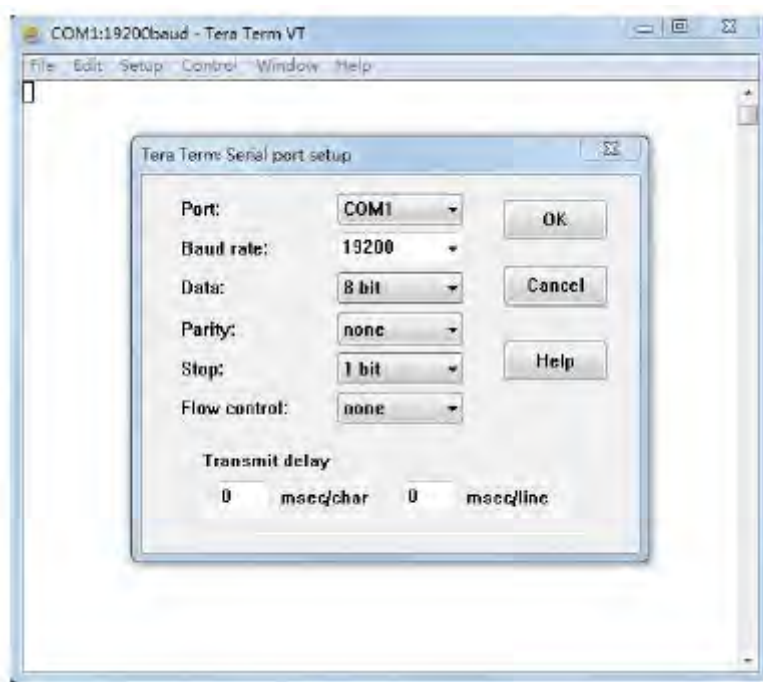
RJ-11→DB-9 シリアルアダプター (ATEN 型番:LIN5-04A2-J11G) を使って、下図を参考にしながら、コンピューターのシリアルポートと CS261 のシリアルポートを接続してください。



コンソールログイン - ハイパーターミナル

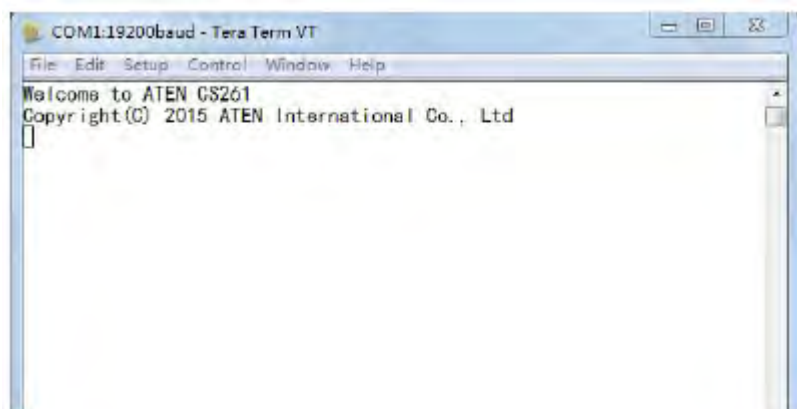
コンピューターとCS261が物理的に接続されると、下記の手順でハイパーターミナルのセッションを確立することができます。

1. ハイパーターミナルのアプリケーションを起動したら、適切なCOMポートの値に合わせてポートの設定を行い、「OK」をクリックしてください。



ボーレート:19200、データビット:8、パリティ:None(なし)、ストップビット:1、フロー制御:None(なし)

2. 正しく設定されると、下図のようなログインプロンプトが表示されます。



ログイン時には、ID やパスワードは不要です。

RS-232 コマンド

ハイパーターミナル経由でログイン (p.6 参照) すると、これから説明する方法で RS-232 コマンドを実行して、リモートから CS261 を制御できるようになります。

RS-232 のリンクがオープンの状態になると、CS261 はフロントパネルのボタンからの操作、および (ホットキー切替モード、コンソール状態およびもう一方のモニターとオーディオの ON/OFF 操作を除いた) 大半のホットキー機能を受け付けなくなります。

下記の RS-232 コマンドに関する詳細および使用方法については、CS261 のユーザーマニュアル本編にてご確認ください。

実行コマンドの結果

コマンドが送信されると、次のような応答メッセージがコマンドラインの最後に返ってきます。

応答メッセージ	説明
Command OK	コマンドやパラメーターは正確です。
Command Incorrect	コマンドやパラメーターが誤っています。

注意: ターミナルソフトウェアの改行コード送信設定は、「CR+LF」にしてください。

切替操作

ポート切替コマンドを使うと、CS261 に接続されたコンピューターを交互に切り替えます。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+入力コマンド+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
sw	切替操作コマンド

入力コマンド	説明
auto	オートモードを選択します。
px	コンソール番号を手動で入力します。 x = 1~2 (デフォルト:1)
private	プライベートモードを選択します。 権限ユーザーは DIP スイッチのピン 4 の設定によって決まります。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

コンソール切替コマンド

コンソール切替コマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+入力コマンド+[Enter]

コンソール 2 に切り替えるには、次を入力してください。

sw p2 [Enter]

オートモードに切り替えるには、次を入力してください。

sw auto [Enter]

-
- 注意:
1. 各コマンド文字列はスペースで区切ってください。
 2. デフォルトではコンソール 1 が選択されます。
 3. [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。
-

キーボード言語レイアウト

このコマンドを使うと、キーボード言語のレイアウトを変更することができます。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
layout	キーボード言語レイアウト変更コマンド

操作	説明
en	キーボード言語レイアウトを英語に変更します。
fr	キーボード言語レイアウトをフランス語に変更します。
jp	キーボード言語レイアウトを日本語に変更します。
ge	キーボード言語レイアウトをドイツ語に変更します。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

キーボード言語レイアウトコマンド

キーボード言語レイアウト変更コマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+操作+[Enter]

キーボード言語レイアウトを日本語に変更するには、次を入力してください。

layout jp [Enter]

キーボード言語レイアウトをフランス語に変更するには、次を入力してください。

layout fr [Enter]

-
- 注意:**
1. 各コマンド文字列はスペースで区切ってください。
 2. デフォルトの言語は英語です。
 3. [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。
-

OS の設定

このコマンドを使うと、ポートの OS を設定することができます。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
os	OS 設定コマンド

操作	説明
pc	OS を PC に変更します。
mac	OS を Mac に変更します。
sun	OS を Sun に変更します。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

OS 設定コマンド

OS 設定コマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+操作+[Enter]

コンソールの OS を Mac に変更するには、次を入力してください。

os mac [Enter]

コンソールの OS を PC に変更するには、次を入力してください。

os pc [Enter]

注意:

1. 各コマンド文字列はスペースで区切ってください。
 2. デフォルトの OS は PC です。
 3. [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。
-

タイムアウト

このコマンドを使うと、タイムアウト時間を設定することができます。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
timeout	タイムアウト値設定コマンド

操作	説明
t x	タイムアウト時間を設定します。 x = 1、タイムアウト 5 秒 x = 2、タイムアウト 60 秒 x = 3、タイムアウト 120 秒 x = 4、タイムアウト 255 秒

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

タイムアウト値設定コマンド

タイムアウト値設定コマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+操作+[Enter]

タイムアウト時間を 5 秒に設定するには、次を入力してください。

timeout t1 [Enter]

タイムアウト時間を 255 秒に設定するには、次を入力してください。

timeout t4 [Enter]

-
- 注意:**
1. 各コマンド文字列はスペースで区切ってください。
 2. デフォルトのタイムアウト値は t1 (5 秒) です。
 3. [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。
-

EDID モード

このコマンドを使うと、EDID を設定することができます。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
edid	EDID モード設定コマンド

操作	説明
remix	CS261 の電源が ON になった時、または Remix オプションが選択された直後の接続に基づいて、各接続ディスプレイの EDID を実行します。
port1	コンソール 1 に接続されたディスプレイの EDID を実行し、ソースにそれを伝送します。
default 720p	ATEN EDID (1,280×720@60Hz) を実行します。
default 1600	ATEN EDID (1,600×1,200@60Hz) を実行します。
default 1080p	ATEN EDID (1,920×1,080@60Hz) を実行します。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

EDID モード設定コマンド

EDID モード設定コマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+操作+[Enter]

EDID モードを Remix に設定するには、次を入力してください。

edid remix [Enter]

コンソール 1 に接続されたディスプレイの EDID を有効にするには、次を入力してください。

edid port1 [Enter]

-
- 注意:**
1. 各コマンド文字列はスペースで区切ってください。
 2. デフォルトの EDID モードは Remix です。
 3. [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。
-

スクリーンセーバー

このコマンドを使うと、スクリーンセーバー機能が有効になるまでのタイムアウト時間を設定することができます。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
scr	スクリーンセーバー設定コマンド

操作	説明
tx	スクリーンセーバー起動までのタイムアウト時間を設定します。 x = 1、タイムアウト 1 分 x = 2、タイムアウト 5 分 x = 3、タイムアウト 10 分 x = 4、タイムアウト 15 分 x = 5、タイムアウト 20 分

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

スクリーンセーバーのタイムアウト値設定コマンド

スクリーンセーバーのタイムアウト値設定コマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+操作+[Enter]

スクリーンセーバーのタイムアウト時間を 1 分に設定するには、次を入力してください。

scr t1 [Enter]

スクリーンセーバーのタイムアウト時間を 15 分に設定するには、次を入力してください。

scr t4 [Enter]

-
- 注意:**
1. 各コマンド文字列はスペースで区切ってください。
 2. デフォルトのタイムアウト値は t1 (1 分) です。
 3. [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。
-

ビープ音の設定

このコマンドを使うと、ビープ音を有効または無効にすることができます。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
beeper	ビープ音設定コマンド

操作	説明
off	ビープ音を無効にします。
on	ビープ音を有効にします。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

ビープ音設定コマンド

ビープ音設定コマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+操作+[Enter]

ビープ音を有効にするには、次を入力してください。

beeper on [Enter]

ビープ音を無効にするには、次を入力してください。

beeper off [Enter]

注意:

1. 各コマンド文字列はスペースで区切ってください。
 2. デフォルトではビープ音が ON(有効)に設定されています。
 3. [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。
-

ホットキーの設定

このコマンドを使うと、ホットキーセッティングモード(HSM)のホットキーの内容を変更することができます。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
hotkey	ホットキー設定コマンド

操作	説明
num	HSM を起動するキーを [Num Lock] + [-] に変更します。
f12	HSM を起動するキーを [Ctrl] + [F12] に変更します。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

ホットキー設定コマンド

ホットキー設定コマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+操作+[Enter]

HSM の起動キーを[Num Lock] + [-]に変更するには、次を入力してください。

hotkey num [Enter]

HSM の起動キーを[Ctrl] + [F12]に変更するには、次を入力してください。

hotkey f12 [Enter]

注意:

1. 各コマンド文字列はスペースで区切ってください。
2. ホットキーセッティングモードの起動キーは、デフォルトでは num ([Num Lock] + [-]) に設定されています。
3. [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。

ホットキーの切替

このコマンドを使うと、ホットキー切替モードを変更することができます。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
switch	ホットキー切替コマンド

操作	説明
scroll	ホットキー切替モードを[Scroll Lock] [Scroll Lock]に変更します。
ctrl	ホットキー切替モードを[Ctrl] [Ctrl]に変更します。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

ホットキー切替コマンド

ホットキー切替コマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+操作+[Enter]

ホットキー切替モードを[Scroll Lock] [Scroll Lock]に変更するには、次を入力してください。

switch scroll [Enter]

ホットキー切替モードを[Ctrl] [Ctrl]に変更するには、次を入力してください。

switch ctrl [Enter]

注意:

1. 各コマンド文字列はスペースで区切ってください。
 2. デフォルトのホットキー切替は scroll ([Scroll Lock] [Scroll Lock]) に設定されています。
 3. [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。
-

USB リセット

このコマンドを使うと、USB 接続をリセットすることができます。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
usbreset	USB リセットコマンド

操作	説明
on	USB 接続のリセットを有効にします。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

USB リセットコマンド

USB リセットコマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+操作+[Enter]

USB 接続をリセットするには、次を入力してください。

usbreset on [Enter]

注意:

1. 各コマンド文字列はスペースで区切ってください。
 2. USB リセットはデフォルトでは OFF に設定されています。
 3. [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。
-

デフォルト設定のリストア

このコマンドを使うと、CS261 におけるすべての設定をリセットし、デフォルトの設定に戻すことができます。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
reset	KVM デフォルト設定復元コマンド

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

デフォルト設定復元コマンド

デフォルト設定復元コマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+[Enter]

CS261 におけるすべての設定をリセットし、デフォルト値を復元するには、次を入力してください。

reset [Enter]

注意: [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。

CS261 のディップスイッチのデフォルト設定は全て OFF です。

ファームウェアアップグレード

このコマンドを使うと、ファームウェアアップグレードモードを有効にすることができます。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
upgrade	ファームウェアアップグレードコマンド

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

ファームウェアアップグレードコマンド

ファームウェアアップグレードコマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+[Enter]

ファームウェアアップグレードモードを有効にするには、次を入力してください。

upgrade [Enter]

注意: [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。

ファームウェアアップグレードプログラムは、CS261 に接続している PC から USB 経由にて更新を行います。詳細は弊社製品ページにて公開しております PDF マニュアルをご参照ください。

アップグレードモードをキャンセルする場合は、電源の入切を行うことで、通常モードへ復帰します。

KVM ステータス

このコマンドを使うと、CS261 における現在の KVM ステータスに関する読み取り専用の情報を表示します。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
status	KVM ステータス表示コマンド

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

KVM ステータス表示コマンド

KVM ステータス表示コマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+[Enter]

CS261 における KVM ステータスを表示するには、次を入力してください。

status [Enter]

そうすると、次のようなメッセージが表示されます。

hotkey: [numlock] + [-] / [scrolllock], [scrolllock]

os setting: pc

keyboard layout: english

注意: [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。

情報

このコマンドを使うと、CS261 における現在のファームウェアバージョンおよび ATEN の著作権情報を表示します。次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
info	情報表示コマンド

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

情報表示コマンド

情報表示コマンドでは次の構文を使用します。

コマンド+[Enter]

CS261 のデバイス情報を表示するには、次を入力してください。

info [Enter]

注意: [Enter]キーの ASCII コードは 0x0D0A です。
